



# シングルレバー 立水栓

## 取扱施工説明書

施工・使用前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

このたびは、シングルレバー立水栓をお買い求めいただき、まことにありがとうございました。

### 安全上のご注意

施工・使用される前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

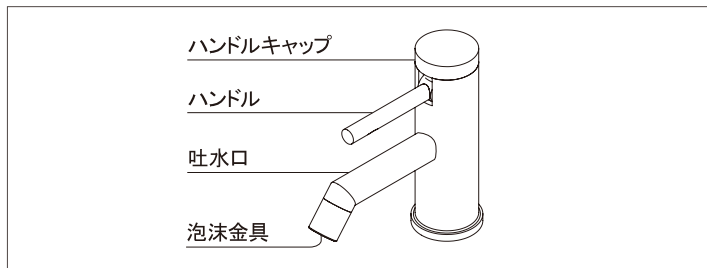
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損など)に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

**注意** 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または、物的損害が発生する危険な状態が生じることが想定されます。

### 施工上のご注意

- 温泉水・中水・飲用不可な井戸水には使用しないでください。
- 凍結の可能性のある場所には設置しないでください。凍結破損により漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 無理な施工はしないでください。通水不良や器具破損のおそれがあります。

### 各部のなまえ



### 施工に必要な工具

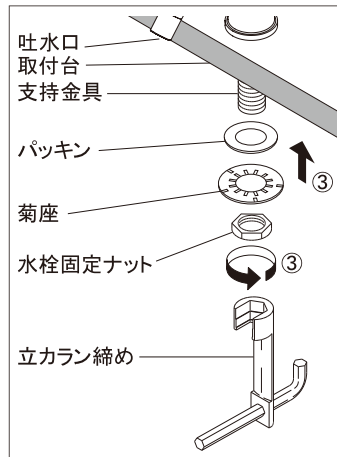
- 立カラン締め
- モンキーレンチ

### 取付方法

\*数秒間水を流し、配管内のゴミなどを洗い流してから、止水栓または元栓を閉めて取付作業を行ってください。

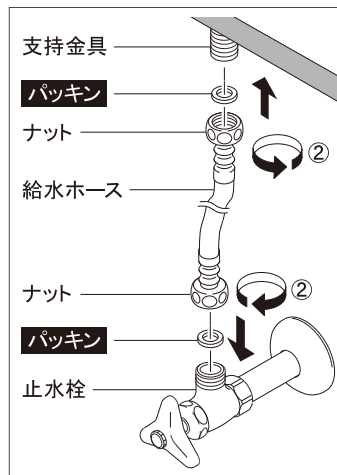
### 取付方法(つづき)

#### 1. 水栓本体を取付けます。



- ① 支持金具から水栓固定ナット・菊座・パッキンを取外します。
- ② 水栓本体底面のウレタンシートの紙をはぎ取り、吐水口が正面を向くように取付台に差込みます。
- ③ パッキン・菊座の順に支持金具に差込み、水栓固定ナットを「立カラン締め」などでしっかりと締付けて固定します。

#### 2. 止水栓と接続します。



- ① パッキンを給水ホースのナットにはめ込みます。
  - ② 給水ホースのナットにパッキンが入っていることを確認のうえ、支持金具・止水栓にしっかりと締付けて固定します。
- \*パッキンの入れ忘れにご注意ください。

**必ず実行**

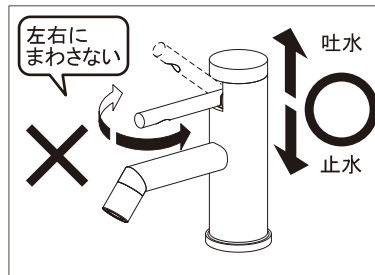
フレキパイプをご使用の場合、接続する配管は確実に固定してください。配管の固定が確実でないと、ウォーターハンマーなどの振動によりフレキパイプが破損する恐れがあります。

### 施工後の確認

- ① 止水栓または元栓を開き、各部に水もれがないかをご確認ください。水もれが発見された場合は、止水栓または元栓を閉め、水もれする箇所を施工し直してください。
- ② ハンドルを開き、吐水状態を確認します。適量で吐水するために、止水栓で水量を調節してください。

### 使用方法

#### ハンドルの操作方法

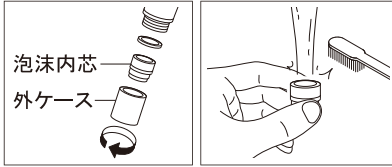


ハンドルを上げると「吐水」、下げると「止水」します。

- ハンドルは左右にまわさないでください。
- ハンドルはゆっくり操作してください。ハンドルを急に操作すると、配管に衝撃が加わり、配管からの漏水を起こし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

# お手入れのしかた

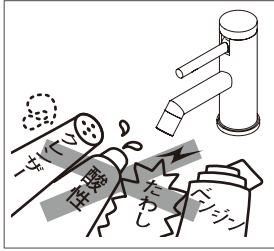
## 泡沫内芯のお掃除



最初ご使用になっていた時より著しく水の出が悪くなった場合は、泡沫内芯を外して、ゴミなどの異物を水洗いして取除いてください。

## 器具のお手入れ

いつまでも美しくご使用いただくために。



- 水栓器具の金属部  
ふだんは乾いたやわらかい布でみがき、ときどきカーワックスなどをしみこませた布でみがいてください。
- 水栓器具の樹脂部・塗装面  
乾いた布を使ってお手入れしてください。汚れがひどい時は、うすめた食器用中性洗剤を含ませた布で拭き、乾いた布で水気を拭き取ってください。

**注意** 金属たわし、クレンザー・みがき粉など粒子の粗い洗剤、酸性・アルカリ性・塩素系洗剤、ベンジン、油などは、金属部・樹脂部・塗装面を傷めますので使用しないでください。また、塗装面や印字部等にメラミンスポンジを使用しないでください。

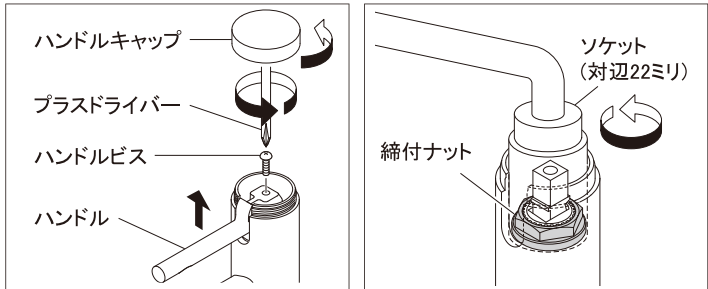
# カートリッジの交換方法

## 必要な工具

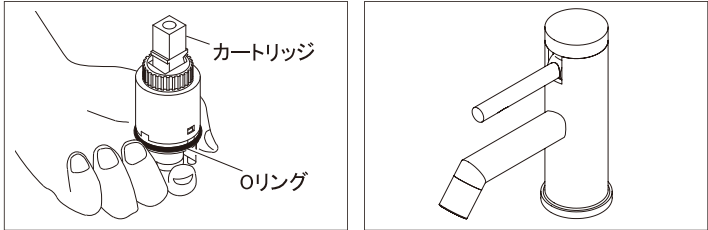
- ソケット (対辺22ミリ)
  - プラスドライバー
- 

## カートリッジの交換方法

\*作業前に、必ず止水栓または元栓を開けて止水してください。



- ①ハンドルキャップを取外します。ハンドルビスを取外し、ハンドルを上方向に抜取ります。
- ②ソケット(対辺22ミリ)で、締付ナットを左方向にまわしてゆるめ、取外します。



- ③古いカートリッジを抜き取り、新しいカートリッジの底にベースパッキンがついていることをご確認のうえ、底の凸部が単水栓本体の凹部に合うように差込んでください。
- ④①～②の逆の手順で組直してください。

**注意** 取付けの際に、Oリングを傷つけないようご注意ください。

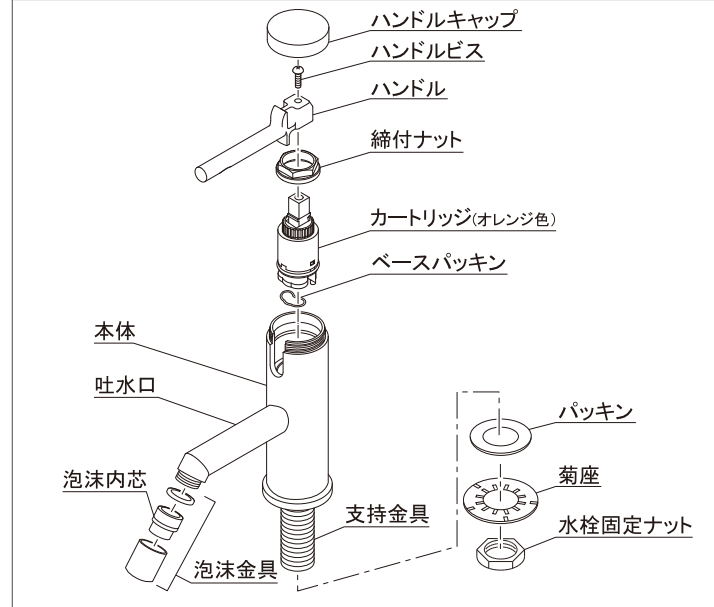
\*作業後は、必ず止水栓または元栓を開いて通水し、水もれがないことをご確認ください。

# カートリッジの交換方法(つづき)

**取付時の注意**

- カートリッジ底にベースパッキンがついていることをご確認ください。
- カートリッジ底の凸部を単水栓本体の凹部にあわせてください。
- 締付ナットは適度な力で締付けてください。(締付けすぎるとハンドルが操作しづらくなります。)

## 分解図



\*品番によっては、図と製品の形状が一部異なります。  
\*製品改良のため、部品仕様などを予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

## こんな時には・・・簡単な点検と対処

機能が正常に働かない時は、修理を依頼される前に「分解図」を参考に次の要領で点検を行ってください。

現象	原因	対処のしかた
吐水不良	全く吐水しない	●止水栓または元栓が閉まっている ●適正水量になるまで止水栓または元栓を開く
	吐水量が少ない	●止水栓または元栓が閉まっている ●泡沫内芯の目詰まり ●適正水量になるまで止水栓または元栓を開く ●泡沫内芯を掃除する
止水不良	止水できない	●カートリッジの異常 ●カートリッジを交換する
	ハンドル下から水もれ	●締付ナットがゆるい ●締付ナットを締める ●カートリッジの異常 ●カートリッジを交換する
吐水量が多い	●止水栓が開きすぎている	●適正水量になるまで止水栓を調節する
ハンドルがかたい	●締付ナットの締めすぎ	●締付ナットを適度な力で締直す
	●カートリッジの異常	●カートリッジを交換する

**分解禁止** 本体内蔵のカートリッジや部品などは、絶対に分解しないでください。故障の原因となります。

## 修理を依頼されるときは

上記の点検を行っても正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店(水道工事店)にお問い合わせください。品番は、ハンドルキャップの裏にあるラベルでご確認ください。



株式会社 カワダイ 本社 〒550-0012 大阪市西区立売堀1-4-4 ☎(06)6538-1124